

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月22日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ベクター

コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梶並 伸博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 平成22年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,926	—	218	—	223	—	127	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	926.82	919.42
22年3月期第2四半期	—	—

(注)平成22年3月期第2四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	3,538	2,762	78.0	20,011.16
22年3月期	3,451	2,724	78.9	39,668.79

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,761百万円 22年3月期 2,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	45.7	600	52.7	600	45.3	343	22.9	2,492.35

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.6「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 139,274株 22年3月期 69,287株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,272株 22年3月期 636株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 137,813株 22年3月期2Q 68,376株

(注)平成22年4月1日を効力発生日とする1:2の株式分割を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
3. 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	8
【第2四半期累計期間】	8
【第2四半期会計期間】	9
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更	14
4. 注記事項	15
5. 参考資料(前年同四半期に係る連結財務諸表等)	20

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成22年10月22日(金)・・・・・・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）におけるわが国経済は、猛暑やエコ優遇特需の寄与もあって昨年春以降の景気回復局面に基調的变化はみられませんでした。急激な円高進行に加え、厳しい雇用・所得環境に改善の兆しがみられず、先行きの景気に下振れリスクを抱えたまま推移いたしました。こうした状況下、当社の当第2四半期累計期間の業績は、営業収益については、1,926,537千円となり、利益状況につきましては、営業利益は218,473千円、経常利益は223,443千円、税引前四半期純利益は219,972千円となりました。

この結果、法人税等を差し引いた四半期純利益は、127,728千円となりました。

当第2四半期累計期間の主なセグメント別販売実績については、次のとおりであります。

オンラインゲーム事業

当社が新たな経営の柱として力を入れているオンラインゲーム事業については当第2四半期累計期間の販売金額は、1,288,569千円と前第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日、以下前年同期という）に比べ103.2%増と倍増となりました。

当該事業は、従来型オンラインゲーム（クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの）、ブラウザゲーム（パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム）、モバイルゲーム（ブラウザゲームの一種で携帯電話でアプリなしで遊べるもの）の3つの分野から構成されています。

従来型オンラインゲームは、前期末「三国ヒーローズ」をはじめ6タイトルを運営しておりましたが、当期「SOULALIVE ONLINE」他2タイトルを新規に開始し、併せて老朽化した2タイトルのサービスを終了しました。この結果、当第2四半期末に7タイトルを運営しております。

ブラウザゲームは、前期末「ドラゴンクルセイド」をはじめ3タイトルを運営しておりましたが、当期「ドラゴンクルセイド2」他2タイトルを新規に開始し、当第2四半期末時点で6タイトルを運営しております。

平成21年8月より開始したモバイルゲームは、前期末「恋する私の王子様」をはじめ3タイトルを運営しておりましたが、当期「えんむす」他3タイトルを新規に開始し、当第2四半期末時点で7タイトルを、主として携帯電話向け交流サイト運営会社の専門サイトを通じて運営しております。

このような新規タイトルの積極的な投入の結果、オンラインゲーム事業全体の営業収益に占める割合は、66.9%にまで高まり、利益面でも、販売金額の大幅な増加により、固定費の負担増を吸収し、収益力向上に大きく寄与しました。

ソフトウェア販売事業

ソフトウェア販売事業の当第2四半期累計期間の販売金額は563,506千円となりました。

うち、プロレジ・サービスの販売金額は478,787千円、シェアレジ・サービスの販売金額は11,836千円となっており、ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウイルス対策ソフトについては依然根強い需要がありますが、概してパソコンソフトに対する関心度合いは低く、販売促進のためのキャンペーンもその効果は限定的なものにとどまりました。そのほか、ソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務の売上高が56,333千円となっておりますが、これも新規顧客獲得がネックとなって頭打ち状態が続いております。

(注) ソフトダウンロード販売の営業収益の計上方法は、シェアレジ・サービスは利用者及び作者からの手数料（利用者からは利用毎に一定金額の手数料を徴収し、作者からはソフトの本体販売価格に一定料率を乗じた金額を手数料として徴収しております。）のみを計上しているのに対し、プロレジ・サービスは本体販売価格を売上高として計上しております。

サイト広告販売事業

サイト広告販売事業の当第2四半期累計期間の販売金額は、71,985千円となりました。うち、キーワード広告（リスティング広告）については当該事業の40.4%を占め、サイト広告販売事業を牽引しておりますが、当該事業全体では景気回復の遅れが響き、概して低調であります。

その他の事業

その他の事業の当第2四半期累計期間の販売金額は、2,475千円になりました。うち、個人向け会員制ブログサービスが46.7%を占めており、他社サーバー運用受託サービスを含めて低調裡に推移いたしました。

なお、平成22年3月期第2四半期累計期間については連結財務諸表を作成していることに加え、平成23年3月期第1四半期会計期間からセグメント情報の開示制度の変更に伴ってセグメントの区分内容を変更したため、こうしたことによる影響を受けないオンラインゲーム事業を除き前年同期比についての記載はしていません。

当第2四半期のセグメント別販売実績

(単位：千円、%)

	23年3月期第2四半期累計期間	
	金額	構成比
オンラインゲーム事業	1,288,569	66.9
ソフトウェア販売事業	563,506	29.2
サイト広告販売事業	71,985	3.7
その他の事業	2,475	0.1
合計	1,926,537	100.0

(2) 財政状態に関する定性的情報

○財政状況の変動状況

当第2四半期会計期間末（平成22年9月30日）における資産合計は3,538,410千円となり、前事業年度末に比べて86,792千円増加しました。

（資産）

流動資産については前事業年度末に比べて89,207千円減少しましたが、現金及び預金が前事業年度末に比べて171,888千円減少した一方、売掛金がオンラインゲーム事業の活発化に伴って前事業年度末に比べて95,402千円増加しました。固定資産については前事業年度末に比べて175,999千円増加しましたが、ソフトウェアの取得などで無形固定資産が501,668千円と前事業年度末に比べて162,976千円増加したことなどによります。

（負債）

負債については流動負債が未払金が218,876千円とオンラインゲーム事業の活発化に伴って前事業年度末に比べて95,348千円増加したなどで761,366千円と前事業年度末に比べて46,155千円増加し、負債合計は775,602千円と前事業年度末に比べ48,058千円増加しました。

（純資産）

純資産については株主資本は2,792,717千円と前事業年度末に比べ80,180千円増加しました。なお、負債合計の負債純資産合計に占める割合が前事業年度末の21.1%から21.9%に高まり、自己資本比率は前事業会計年度末の78.9%から78.0%に0.9%低下しました。

○キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間において現金及び現金同等物は、期末残高が1,476,550千円と期首残高の1,648,425千円に比べ171,875千円減少しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期累計期間は小計段階で税引前四半期純利益219,972千円の計上などで280,242千円の収入となりましたが、法人税等の支払額89,139千円などがあり、差引き195,371千円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産（ソフトウェア）の取得による支出243,674千円などにより、差引き319,778千円の支出となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支（フリーキャッシュ・フロー）は、124,406千円の赤字（支出超過）となり、キャッシュ残高の減少要因となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額により47,468千円の支出となり、その分キャッシュ残高の減少要因となりました。

なお、平成22年3月期第2四半期累計期間については連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間に係る営業収益につきましては、ソフトウェア販売事業が低調でしたが、主力のオンラインゲーム事業が計画を上回ったことにより、全体としてほぼ予想どおりの結果となりました。また、利益面についても、ほぼ予想どおりの結果となりました。

通期の業績予想につきましては、経済環境の悪化も懸念される中で、現状の販売状況が堅調に推移していることを考慮し、当初計画どおり営業収益4,600百万円、営業利益600百万円、経常利益600百万円、当期純利益343百万円を予定しております。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

詳細は、P. 14 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」をご覧ください。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,446,265	1,618,153
売掛金	606,693	511,290
有価証券	430,285	430,272
その他	161,889	174,624
流動資産合計	2,645,133	2,734,340
固定資産		
有形固定資産	115,052	74,496
無形固定資産		
のれん	29,689	39,064
ソフトウェア	398,213	160,500
その他	73,766	139,126
無形固定資産合計	501,668	338,691
投資その他の資産	276,555	304,089
固定資産合計	893,277	717,277
資産合計	3,538,410	3,451,618
負債の部		
流動負債		
買掛金	186,627	219,605
未払法人税等	103,613	95,584
引当金	36,275	48,353
その他	434,849	351,667
流動負債合計	761,366	715,211
固定負債		
引当金	14,235	12,333
固定負債合計	14,235	12,333
負債合計	775,602	727,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,246	995,695
資本剰余金	1,395,244	1,384,693
利益剰余金	486,178	427,100
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	2,792,717	2,712,536
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△31,137	10,765
評価・換算差額等合計	△31,137	10,765
新株予約権	1,227	772
純資産合計	2,762,808	2,724,074
負債純資産合計	3,538,410	3,451,618

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業収益	1,926,537
営業費用	1,708,064
営業利益	218,473
営業外収益	
受取利息	3,844
受取配当金	55
為替差益	1,376
その他	813
営業外収益合計	6,090
営業外費用	
事務所移転費用	810
株式交付費	269
その他	40
営業外費用合計	1,120
経常利益	223,443
特別損失	
固定資産除却損	1,107
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,362
特別損失合計	3,470
税引前四半期純利益	219,972
法人税、住民税及び事業税	99,422
法人税等調整額	△7,177
法人税等合計	92,244
四半期純利益	127,728

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
営業収益	1,041,075
営業費用	923,447
営業利益	117,627
営業外収益	
受取利息	1,918
為替差益	1,123
その他	480
営業外収益合計	3,522
営業外費用	
事務所移転費用	810
その他	123
営業外費用合計	934
経常利益	120,214
特別損失	
固定資産除却損	844
特別損失合計	844
税引前四半期純利益	119,369
法人税、住民税及び事業税	68,203
法人税等調整額	△17,560
法人税等合計	50,643
四半期純利益	68,726

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	219,972
減価償却費	111,612
のれん償却額	9,375
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,902
賞与引当金の増減額 (△は減少)	421
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,500
受取利息及び受取配当金	△3,900
固定資産除却損	1,107
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,717
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,621
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,993
預り金の増減額 (△は減少)	17,747
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22,086
その他	90,486
小計	280,242
利息及び配当金の受取額	4,268
法人税等の支払額	△89,139
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△999,791
有価証券の売却による収入	999,791
有形固定資産の取得による支出	△64,602
無形固定資産の取得による支出	△243,674
長期前払費用の取得による支出	△3,174
貸付けによる支出	△999,554
貸付金の回収による収入	999,554
敷金の差入による支出	△22,610
敷金の回収による収入	14,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319,778
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△68,468
新株予約権の行使による株式の発行による収入	21,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,468
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△171,875
現金及び現金同等物の期首残高	1,648,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,476,550

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第23期第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に事業別の部署を置き、各部署は取扱う事業サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、オンラインゲーム事業、ソフトウェア販売事業、サイト広告販売事業の3つを報告セグメントとしております。

なお、オンラインゲーム事業は、オンラインゲームの企画・運営・配信業務を行っております。ソフトウェア販売事業は、ソフトダウンロード販売(プロレジ・サービス、シェアレジ・サービス)、ソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務などを行っております。

サイト広告販売事業は、Web広告販売、メール広告販売業務などを行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注2)	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業 (注1)	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,288,569	563,506	71,985	1,924,062	2,475	1,926,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,288,569	563,506	71,985	1,924,062	2,475	1,926,537
セグメント利益又は セグメント損失(△)	158,197	62,377	40,642	261,217	△6,705	254,511

(注)1 従来から「インターネット販売事業」という名称を使用していましたセグメントにつきましては、当事業年度よりセグメントの内容をよりの確に表すために、これを「ソフトウェア販売事業」に名称を変更しております。

2 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人向け会員制ブログサービス、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

当第2四半期会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注2)	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業 (注1)	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	743,558	259,674	36,637	1,039,870	1,204	1,041,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	743,558	259,674	36,637	1,039,870	1,204	1,041,075
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	94,098	25,120	20,631	139,851	△2,903	136,948

(注)1 従来から「インターネット販売事業」という名称を使用していましたセグメントにつきましては、当事業年度よりセグメントの内容をよりの確に表すために、これを「ソフトウェア販売事業」に名称を変更しております。

2 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人向け会員制ブログサービス、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	261,217
「その他」の区分の損失(△)	△6,705
全社費用(注)	△36,038
四半期損益計算書の営業利益	218,473

(注)全社費用は、主に報告セグメントの帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

当第2四半期会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	139,851
「その他」の区分の損失(△)	△2,903
全社費用(注)	△19,320
四半期損益計算書の営業利益	117,627

(注)全社費用は、主に報告セグメントの帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。

(7) 四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更

	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	第23期第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。 これに伴い、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益は、適用前に比べて355千円減少し、税引前四半期純利益は2,717千円減少しております。

【表示方法の変更】

	当第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
(四半期貸借対照表関係)	前第2四半期連結会計期間において、無形固定資産の「その他」に含めていた「ソフトウェア」は資産総額の100分の10を超えたため、当第2四半期会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第2四半期連結会計期間の無形固定資産の「その他」に含まれる「ソフトウェア」は111,163千円であります。

4. 注記事項

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)		前事業年度末 (平成22年3月31日)	
※ 有形固定資産の減価償却累計額	158,292千円	※ 有形固定資産の減価償却累計額	135,654千円

(四半期損益計算書関係)

当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
※ 営業費用の主なもの	
ソフトウェア販売原価	361,629千円
オンラインゲームロイヤリティ	205,135
コンテンツ費用	3,285
支払手数料	258,377
広告宣伝費	212,339
役員報酬	27,396
給与手当・賞与	258,011
株式報酬費用	559
賞与引当金繰入	35,076
退職給付費用	2,467
福利厚生費	42,716
業務委託費	11,075
通信費	66,175
租税公課	7,302
減価償却費	111,612
長期前払費用償却費	1,410
のれん償却額	9,375
保守修理費	1,369
旅費交通費	2,588
地代家賃	37,106
賃借料	292
水道光熱費	7,199
消耗品費	1,609

当第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	
※ 営業費用の主なもの	
ソフトウェア販売原価	166,038千円
オンラインゲームロイヤリティ	120,005
コンテンツ費用	1,529
支払手数料	150,805
広告宣伝費	128,682
役員報酬	14,358
給与手当・賞与	133,158
株式報酬費用	279
賞与引当金繰入	16,909
退職給付費用	1,217
福利厚生費	22,246
業務委託費	5,320
通信費	36,782
租税公課	3,401
減価償却費	67,635
長期前払費用償却費	818
のれん償却額	4,687
保守修理費	677
旅費交通費	567
地代家賃	18,247
賃借料	146
水道光熱費	4,317
消耗品費	819

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対 照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)	
現金及び預金	1,446,265千円
中国ファンド(有価証券勘定)	30,285
現金及び現金同等物	1,476,550

(金融商品関係)

当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)

金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション関係)

当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(賃貸等不動産関係)

当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
20,011円16銭	39,668円79銭 (19,834円40銭)

(注)1 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期累計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
四半期貸借対照表上の純資産の部の合計額(千円)	2,762,808	2,724,074
普通株式に係る純資産額(千円)	2,761,580	2,723,302
差額の内訳(千円) 新株予約権	1,227	772
普通株式の発行済株式数(株)	139,274	69,287 (138,574)
普通株式の自己株式数(株)	1,272	636 (1,272)
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	138,002	68,651 (137,302)

- 2 当社は、平成22年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における前事業年度末の1株当たり純資産額及び1株当たり純資産額の算定上の基礎に係る株式数はカッコ内に記載のとおりであります。

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	926円82銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	919円42銭

(注)1 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	127,728
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	127,728
普通株式の期中平均株式数(株)	137,813
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に用いられた普通株式増加数の内訳 新株予約権(株)	1,110
普通株式増加数(株)	1,110
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含まれなかった潜在株式について前事業年度末から重要な変動がある場合の概要	—

第2四半期会計期間

当第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	498円01銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	495円29銭

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	68,726
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	68,726
普通株式の期中平均株式数(株)	138,002
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に 用いられた普通株式増加数の内訳 新株予約権(株)	759
普通株式増加数(株)	759
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益の算定に含まれなかった潜在 株式について前事業年度末から重要な変動がある 場合の概要	希薄化効果を有しないも のが5種類から4種類 (新株予約権の数1,674 株)に減少しました。

(重要な後発事項)

該当事項はありません。

5. 参考資料

前年同四半期に係る連結四半期財務諸表等

○平成22年3月期第2四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため「参考資料」として四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

(1) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収益	1,883,094
営業費用	※ 1,719,192
営業利益	163,901
営業外収益	
受取利息	1,592
受取配当金	24
業務受託料	4,000
その他	1,592
営業外収益合計	7,210
経常利益	171,112
特別利益	
子会社株式売却益	489
特別利益合計	489
特別損失	
ソフトウェア除却損	98
投資有価証券評価損	174
特別損失合計	272
税金等調整前四半期純利益	171,329
法人税、住民税及び事業税	1,310
法人税等調整額	20,052
法人税等合計	21,363
少数株主損失(△)	△1,372
四半期純利益	151,339

(注) 営業費用の内訳

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
※営業費用の主なもの	
インターネット販売原価	871,148千円
オンラインゲームロイヤリティ	147,832
コンテンツ費用	5,961
支払手数料	99,528
広告宣伝費	68,967
役員報酬	31,582
給与手当・賞与	210,064
賞与引当金繰入	33,664
退職給付費用	1,697
福利厚生費	31,092
業務委託費	21,409
通信費	33,312
租税公課	5,806
減価償却費	45,565
長期前払費用償却費	578
のれん償却額	9,375
保守修理費	2,103
旅費交通費	4,000
地代家賃	37,717
賃借料	397
水道光熱費	6,226
消耗品費	749

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
営業収益	927,287
営業費用	※ 840,675
営業利益	86,612
営業外収益	
受取利息	1,180
為替差益	545
その他	897
営業外収益合計	2,623
経常利益	89,235
特別利益	
子会社株式売却益	489
特別利益合計	489
税金等調整前四半期純利益	89,725
法人税、住民税及び事業税	657
法人税等調整額	18,999
法人税等合計	19,657
少数株主損失(△)	△400
四半期純利益	70,468

(注) 営業費用の内訳

前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
※営業費用の主なもの	
インターネット販売原価	406,692千円
オンラインゲームロイヤリティ	76,406
コンテンツ費用	2,986
支払手数料	52,575
広告宣伝費	30,895
役員報酬	15,650
給与手当・賞与	108,340
賞与引当金繰入	18,841
退職給付費用	848
福利厚生費	16,757
業務委託費	10,719
通信費	16,376
租税公課	2,899
減価償却費	23,184
長期前払費用償却費	304
のれん償却額	4,687
保守修理費	839
旅費交通費	2,247
地代家賃	18,858
賃借料	198
水道光熱費	3,467
消耗品費	319

(2) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	171,329
減価償却費	45,565
のれん償却額	9,375
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,697
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,154
受取利息及び受取配当金	△ 1,617
投資有価証券評価損 (△は益)	174
ソフトウェア除却損	98
売上債権の増減額 (△は増加)	12,424
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,089
仕入債務の増減額 (△は減少)	△76,992
預り金の増減額 (△は減少)	5,003
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,085
その他	△ 8,068
小計	169,138
利息及び配当金の受取額	488
法人税等の支払額	18,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	188,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△10,513
無形固定資産の取得による支出	△75,740
有価証券の取得による支出	△999,749
有価証券の売却による収入	799,749
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△93,030
貸付けによる支出	△498,876
貸付金の回収による収入	498,876
敷金の回収による収入	25,056
その他	△554
投資活動によるキャッシュ・フロー	△354,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△166,217
現金及び現金同等物の期首残高	1,987,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,821,565

○注記事項に係る事項のうち主なものは以下のとおりであります。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	インターネット 販売事業 (千円)	オンライン ゲーム事業 (千円)	サイト広告 販売事業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益							
(1) 外部顧客に 対する売上高	511,360	335,433	47,988	32,505	927,287	—	927,287
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	—	—	—	48	(48)	—
計	511,408	335,433	47,988	32,505	927,336	(48)	927,287
営業利益	2,387	69,725	16,244	21,831	110,189	(23,577)	86,612

(注)1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 事業区分の内容

- | | |
|-----------------|---|
| (1) インターネット販売事業 | ソフトダウンロード販売（プロレジ・サービス、シェアレジサービス）、パソコン・同周辺機器、家庭用電気機器並びに健康関連商品など（ハードウェア）及びパッケージソフトの販売 |
| (2) オンラインゲーム事業 | オンラインゲームの企画・運営・配信 |
| (3) サイト広告販売事業 | Web広告販売、メール広告販売 |
| (4) その他の事業 | 他社サーバ運用管理受託業務、ソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務など。 |

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	インターネット 販売事業 (千円)	オンライン ゲーム事業 (千円)	サイト広告 販売事業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,085,787	634,194	97,685	65,426	1,883,094	—	1,883,094
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	125	—	—	—	125	(125)	—
計	1,085,913	634,194	97,685	65,426	1,883,220	(125)	1,883,094
営業利益	12,930	126,909	35,195	42,053	217,088	(53,186)	163,901

(注)1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 事業区分の内容

- (1) インターネット販売事業 ソフトダウンロード販売（プロレジ・サービス、シェアレジサービス）、パソコン・同周辺機器、家庭用電気機器並びに健康関連商品など（ハードウェア）及びパッケージソフトの販売
- (2) オンラインゲーム事業 オンラインゲームの企画・運営・配信
- (3) サイト広告販売事業 Web広告販売、メール広告販売
- (4) その他の事業 他社サーバ運用管理受託業務、ソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務など。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

連結会社が全て本邦に所在するため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

連結会社が全て本邦に所在するため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	2,213円34銭 (1,106円67銭)
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	希薄化効果を有している 潜在株式が存在しないた め、記載しておりません。

(注)1 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	151,339
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	151,339
普通株式の期中平均株式数(株)	68,376 (136,752)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益の算定に含まなかった潜在 株式について前連結会計年度末から重要な変動が ある場合の概要	—

2 当社は、平成22年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における前第2四半期連結累計期間に係る1株当たり四半期純利益金額及び普通株式の期中平均株式数は、カッコ内に記載のとおりそれぞれ1,106円67銭、136,752株となります。

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	1,030円60銭 (515円30銭)
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	1,030円43銭 (515円22銭)

(注)1 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	70,468
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	70,468
普通株式の期中平均株式数(株)	68,376 (136,752)
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に 用いられた普通株式増加数の内訳 新株引受権(株)	11 (22)
普通株式増加数	11 (22)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益の算定に含まれなかった潜在 株式について前連結会計年度末から重要な変動が ある場合の概要	—

- 2 当社は、平成22年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における前第2四半期連結会計期間に係る1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、カッコ内に記載のとおりそれぞれ515円30銭、515円22銭となります。また、普通株式の期中平均株式数及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に用いた普通株式増加数はカッコ内に記載のとおり、それぞれ136,752株、22株となります。